

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1480-0054

報告書提出
事業者名

みずほ信託銀行株式会社

事業所名

KDX日本橋216ビル

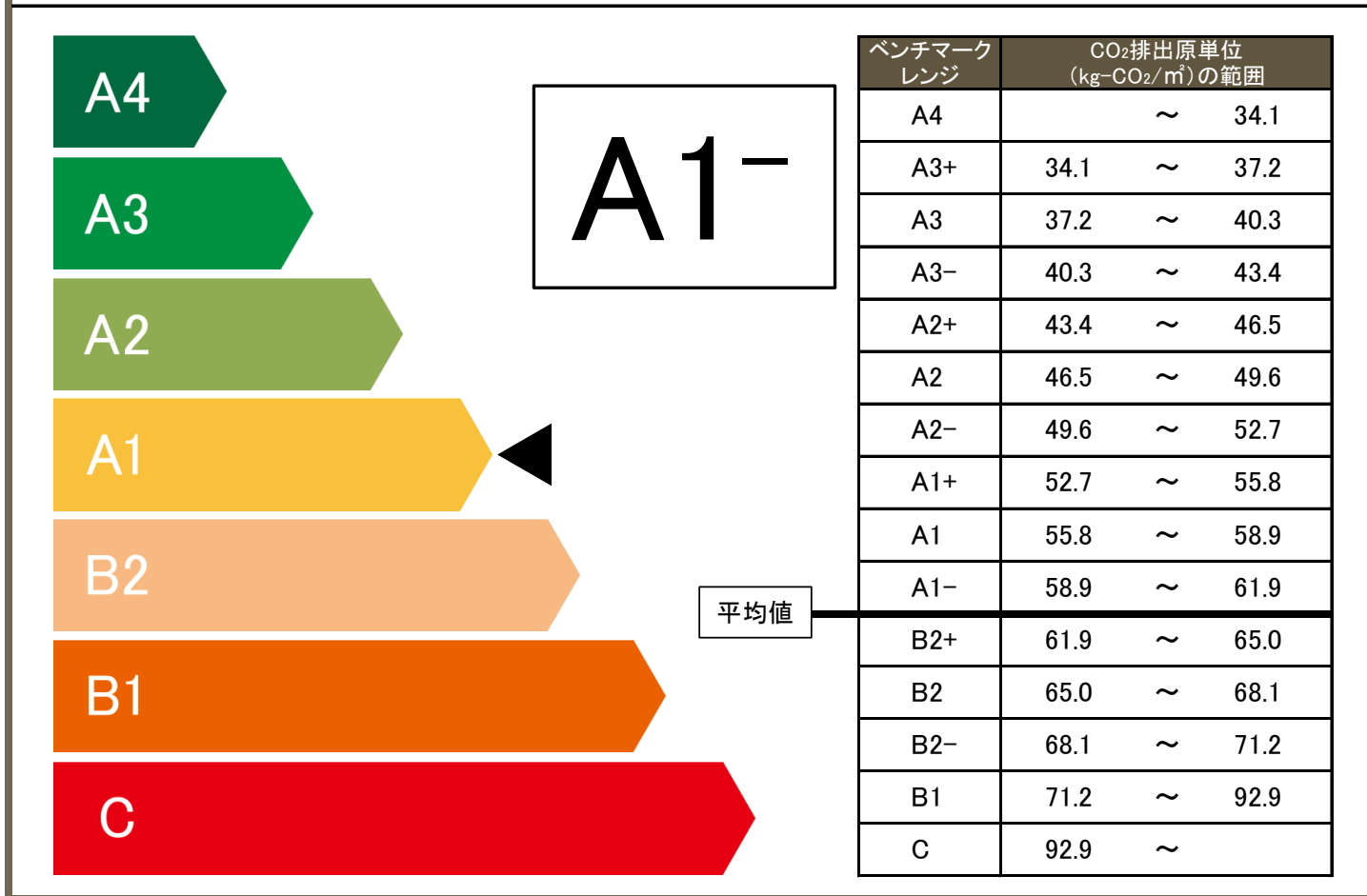
住 所

東京都中央区日本橋2-16-2



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2012 年	111 t	1871.62 m ²	59.3 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、小規模)



※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組 織 体 制 の 整 備	具体的な取組目標と内容の設定	地球温暖化対策の方針等の設定
	取組状況の点検体制の構築	取組内容や点検体制の定期的改善
	テナントにエネルギー使用量提供	外部専門家への相談依頼の実施
	ビル所有者の対策や要請に協力	テナントへの温暖化対策協力依頼
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	関連他者からの情報を加えて把握	
	エネルギー使用量の前年度比較	
運 用 対 策	共用部照明のフロアごとの管理	
設 備 保 守 対 策	空調フィルターの清掃・点検	
設 備 導 入 対 策	高効率照明ランプの採用(屋内)	高輝度誘導灯の導入
	高効率照明器具の採用(屋内)	照明用人感センサの採用

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

KDX日本橋216ビルでは、空調フィルターの清掃を頻繁に行うとともに、屋外機コイル洗浄も定期的を実施しています。また、テナントには、エネルギー使用量等の情報を提供し協働で温暖化対策へ取組んでいる。2012年には、ダウンライトLED化や階段灯Hf型人感センサー付器具への省エネ改修工事を行いました。

◆ 注記

ビルのCO2排出原単位(延床面積当りの年間CO2排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO2排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO2排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO2排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。